

教育研究組織の編成方針

1. 目的

倉敷市立短期大学の理念に則して、倉敷市立短期大学学則の定める目的を達成するために、各学科及び専攻科、附属図書館、子育てカレッジ（親子交流広場“くららっこ”）等の教育研究組織を編成し、次のように教育研究組織の編成方針を策定する。

2. 方針

本学の理念を実現するために、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針及び学生の受け入れ方針及びその他の方針に照らしながら、教育研究の継続的な質向上と活性化を図る。また、教育研究組織が適切に機能しているかについても、定期的に検証し、その結果を改善・向上に結びつける。

3. 実施体制

（1）組織

教育研究の継続的な質向上と活性化を図るための責任組織として各学科及び専攻科、附属図書館、子育てカレッジ（親子交流広場“くららっこ”）等の教育研究組織を置く。これらの研究組織は、企画運営協議会によって管理・点検し、教育研究を推進する。

（2）手続き

- ①高い教養と専門的能力を教授し、またそれらを総合的に活用し学生が今後の社会を支えていく力を発揮できるように、合理的かつ効率的な教育研究組織を編成する。
- ②学問分野の壁にとらわれず、教育研究組織の横断的連携による新たな学術の創造を図る。
- ③社会とそのニーズの変化や多様化に対応して、不断に教育の内実を検証して絶えず改善に努め、必要とあれば教育研究組織の改編を実施する。
- ④学科及び専攻科、附属図書館、子育てカレッジ（親子交流広場“くららっこ”）等が連携して教育研究を行えるよう組織を編成する。

（第1147回（令和4年度第20回）教授会）